

事務事業実績測定調書

R4調書番号 238

事務事業名称	市営住宅維持管理事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	総務部			課	財産管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	1954(S29)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	公営住宅法、枚方市営住宅条例、枚方市営住宅条例施行規則 等				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	住宅に困窮する低所得者で、高齢者世帯・ひとり親世帯・障害者世帯などの入居世帯			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	低所得者の福祉世帯向け住宅であることから、福祉部門や関係機関との連携をとりながら支援を行う。また家賃滞納者への適切な指導や、減免対象者への減免制度への誘導措置なども併せて行い、入居者の生活の安定を図る。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	入居者が、自立し、安心して日常生活がおくれる住宅の供給が出来る状態。				
事業概要	<p>住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸することにより、生活の安定と社会福祉の増進に寄与し、入居者が快適な共同生活を営むことが出来るように住宅施設の適正かつ合理的な管理を行う。</p> <p>津田元町住宅 RC造3階建、平成7年築、延床面積651.98㎡、管理戸数8戸、入居戸数6戸 津田北町住宅 RC造5階建、平成9年築、延床面積1,276.25㎡、管理戸数20戸、入居戸数20戸</p> <ul style="list-style-type: none"> 現入居者に対する家賃決定や使用料の徴収等の入居者管理及び公正な入居者募集。 施設の維持管理については(給水設備、エレベーター設備保守点検、消防用設備保守点検)業務委託。建築物・建築設備定期点検業務等を委託している。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						市営住宅が適正に維持管理されている。				必要な維持管理業務を実施する。			
指標設定	指標説明					委託料に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】				保守点検の回数			
	指標種類					減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100以内	100以内	100以内	100以内	4	4	5	4
	実績					86.14	97.33	95.41		4	4	5	
達成度					105%				100%				
ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						市営住宅が適正に維持管理されている。				必要な修繕業務を行う。			
指標設定②	指標説明					委託料に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】				修繕回数			
	指標種類					減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100	100	100	100	15	15	15	15
	実績					37.40	28.50	48.03		10	9	10	
達成度					152%				133%				

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル③						低所得者の福祉世帯向けへの住宅提供				入居者の募集			
指標設定③	指標説明					市営住宅全28戸の入居割合				計画的な入居募集			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標 (見込み)					100 100 100 100				3 1 1 1			
	実績					92.80 89.28 85.71				3 1 0			
達成度						86%				0%			
ロジックモデル④		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						市営住宅の維持管理を行うための特定財源の確保				入居者からの家賃等の徴収			
指標設定④	指標説明					特定財源で市営住宅の維持管理等、全て賄うことができる				家賃等の徴収			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標 (見込み)					8,000 8,000 8,000 8,000				8,000 8,000 8,000 8,000			
	実績					7,872 5,406 5,772				7,872 7,984 7,351			
達成度						72%				92%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.60
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	5,583	5,500	4,687		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	5,583	5,500	4,687		
物件費計	11,112	5,770	19,557	25,292	77.3%	
歳出計		16,695	11,270	24,244		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料、手数料)	7,876	7,914	7,351	8,107	
	市債	0	0	0	0	
	その他	91	70	0	1	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
歳入計(物件費に充当される特定財源)		7,967	7,984	7,351	8,108	
一般財源(物件費に充当されるもの)		3,145	0	12,206	17,184	

5. 総括的分析

総括的分析	安心安全な住戸環境を維持するため、配電線路改修工事等の修繕を行った。 また、例年通り保守点検等の委託を予定通り継続し、故障箇所については適宜修繕を行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、安心安全な住居環境の維持に努める。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 718

事務事業名称	財産区管理会運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	総務部			課	財産管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	30.市民による活発なまちづくり活動を支援します									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	地方自治法第296条の2第1項及び296条の4第1項 枚方市財産区管理会条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	財産区管理会			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	財産区管理会が円滑に運営できない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	財産区管理会が円滑に運営できている状態。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 設置されている23の財産区管理会は、市長が財産区の財産または公の施設の管理、処分、廃止に関する事務を執行するにあたり、審議し同意を与える。 財産区の財産または公の施設の管理等を執行する。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						財産区管理会が円滑に運営できる。				財産区管理会運営事務を実施する。			
指標設定	指標説明					財産区管理会で決定された案件数				財産区管理会の開催回数			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	目標 (見込み)					単位	件			単位	回	
		実績					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4
	達成度					127%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.60
再任用	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,071	6,020	5,191		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	6,071	6,020	5,191		
	物件費計	305	215	370	448	82.6%
	歳出計	6,376	6,235	5,561		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	305	215	370	448	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	305	215	370	448	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	管理会の運営状況は、5財産区で計12回（費用弁償の対象は12回370,000円）
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	財産区財産についての苦情対応や管理方法などの課題については、適宜、管理会を開催し、地元住民の代表である管理委員と十分な協議を行い、管理委員が状況を把握し、自ら意思決定できるよう努める。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 719

事務事業名称	財産区議会運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	総務部			課	財産管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	地方自治法第295条 枚方市財産区議会設置条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	財産区議会			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	財産区議会が円滑に運営できない			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	財産区議会が円滑に運営できている状態				
事業概要	各財産区の財産管理及び処分等の適正な執行を行うため、議会で審議し議決に基づき事務を執行する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						財産区議会が円滑に運営できる。				財産区議会運営事務を実施する。				
指標設定	指標説明					財産区議会(全員協議会含む)で決定された案件数				財産区議会(全員協議会含む)の開催回数				
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績					31	31	31	31	8	8	8	8
	達成度					61%				88%				
	単位					件				回				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.30
再任用	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	5,762	5,222	4,358		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	5,762	5,222	4,358		
	物件費計	0	0	0	0	
	歳出計	5,762	5,222	4,358		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の物件費については、人員配置をもとに平均物件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	令和4年度は、財産区議会の開催回数が前年度より減少したものの、適切な議会運営に取り組んだ。（開催回数：議会 4回、協議会 3回、案件数：議会 14件、協議会 5件）
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	今後も財産区議会の運営が円滑に進むよう適切な議会運営に取り組む。

事務事業名称	財産区財産管理事業										
測定年度	2022(R4)年度			部	総務部			課	財産管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	地方自治法第294条等、地方自治法第296条の2第1項及び296条の4第1項、枚方市財産区管理条例、枚方市財産区地域公共事業等交付金交付要綱				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	各財産区に居住する地域住民			
	サブターゲット	-			
	ターゲットが抱える課題	これまで財産区財産(井筒、ため池、墓地、山林など)の維持管理は、各権利者(水利権者、墓地管理委員会、立木支配権者など)が行っていたが、高齢化の進行や農業用水、材木の利用減少などにより、管理不良物件が増え、財産区基金のない地区は、近隣から財産区財産の日常管理(除草等)に関する苦情があっても対応が困難な状況となっている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	不要となった財産区財産は処分(売却)、市へ寄付するなど、管理主体を明確にし、適正な財産管理ができる状態。権利者関係同意を要する事務については、権利者からすみやかに同意が得られる事務処理の実施ができる状態。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・財産区が所有する基金管理の各種事務、隣接地等の申請に基づく土地境界明示、立会、財産管理のため現地調査、土地等の処分、貸付・占用許可事務を行う。 ・財産区地域公共事業等交付金の交付を行う。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
					管理主体を明確にし、適正な財産管理ができる。				財産区が所有する基金管理の各種事務、隣接地等の申請に基づく土地境界明示、立会、財産管理のため現地調査、土地等の処分、貸付・占用許可事務を行う。				
指標設定	指標説明				交付金事業件数				枚方市財産区地域公共事業等交付金交付件数				
					単位		件		単位		件		
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)				R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績				59	59	59	59	59	59	59	59
達成度				108%				108%					

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.20
再任用	0.30
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	12,630	12,560	10,885		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	12,630	12,560	10,885		
	物件費計	1,015,648	93,376	99,359	125,880	78.9%
歳出計		1,028,233	105,936	110,244		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人員配置については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	1,015,496	93,271	99,261	125,523	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	1,015,496	93,271	99,261	125,523	
一般財源（物件費に充当されるもの）		152	105	98	357	

5. 総括的分析

総括的分析	財産区地域公共事業等交付金の交付申請64件（交付金額は、65,631,026円）
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	正確かつ迅速な事務遂行に努め、現状のまま事務を執行する。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 764

事務事業名称	公有財産管理事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	総務部			課	財産管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	地方自治法等				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	公有財産を所管する部・課の職員(財産取扱主任等)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	公有財産の維持・保存のための適正管理を図ることが出来ない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	所管する公有財産の把握、維持管理に必要な事務(境界明示、測量等)の理解、維持管理費用の予算化を行い、適切な維持管理が行うことができる状態。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・普通財産の処分、賃貸借等を行う。 ・行政財産等の管理に関する協議を行う。 ・財産台帳の調整(更新)を行う。 ・市有地の測量及び寄付帰属物件も含め登記を行う。 ・建物総合損害共済の加入及び全国市長会市民総合賠償補償保険の請求事務を行う。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
			適正な公有財産の維持管理や取得、処分事務ができる。				普通財産の取得、管理及び処分、行政財産の管理の総括事務を行う。				
指標設定	指標説明		当部署所管の普通財産等(土地)のうち、処分・貸付・庁内利用等、活用を行った財産の割合 【算出式:各年度の普通財産等(土地)活用件数/当部署所管の普通財産等件数×100】				各年度における当部署所管の普通財産等(土地)の処分・貸付・庁内利用等、活用を行った件数				
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績		11	89	89	91	9	39	39	40
	達成度			100%				123%			
ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
			寄附、帰属の登記を行うことで法的にも適切な管理を行うことができる。				開発区域内で寄附・帰属を受けた物件の登記を行う。				
指標設定②	指標説明		寄附、帰属の登記件数(当該年度)				寄附、帰属物件数(当該年度)				
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績		81	81	81	81	81	81	81	81
	達成度			148%				148%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	1.00
再任用	0.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	12,191	11,242	10,330		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	12,191	11,242	10,330		
物件費計	15,088	17,743	17,236	20,553	83.9%	
歳出計	27,279	28,985	27,566			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	286	286	286	285	
	市債	0	0	0	0	
	その他	90,621	231,599	450,036	445,726	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	90,907	231,885	450,322	446,011	
一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	0		

5. 総括的分析

総括的分析	年間を通して適切な財産管理が図れた。
-------	--------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き適切な財産管理に努める。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 765

事務事業名称	土地開発公社運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	総務部			課	財産管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2006(H18)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市土地開発公社			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	公社が保有する長期保有地等の保有簿価が増加しないよう、計画的な市からの買戻しが必要であり、毎年度定める、経営指標を下回る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公社が保有する公共用地の買戻し等の実行により、保有簿価を縮減し、経営指標の維持をめざす。				
事業概要	枚方市土地開発公社の経営健全化に向けた取り組みを行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						国の定める経営指標値を下回り、健全な経営状況を維持できる。				公社が保有する長期保有地等の保有簿価が増加しないよう、保有簿価の管理を行う。			
指標設定	指標説明					標準財政規模に対する長期保有額の割合(国が定める経営指標) 【算出式:保有額/市の標準財政規模】				各年度末長期保有簿価			
	指標種類					減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					0.2未満	0.1未満	0.1未満	0.1未満	5,314,000	4,042,000	3,942,000	3,842,000
	実績					0.07	0.06	0.06		5,222,782	4,120,768	3,538,770	
達成度						140%				110%			

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.80
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	7,178	7,071	6,250		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	7,178	7,071	6,250		
	物件費計	0	0	0	0	
	歳出計	7,178	7,071	6,250		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の物件費については、人員配置をもとに平均物件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	新規事業については、新規取得、買戻しともに進捗しており、事業が順調に進んでいる 長期保有地については、健全化対策のため年度末に追加の買戻しを実施し、保有高が減少した
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き買戻しを実施し、保有高の縮減に努める

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.40
再任用	0.60
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

(千円)

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	8,463	7,048	6,146		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	8,463	7,048	6,146		
物件費計	43,803	39,810	14,337	18,860	76.0%	
歳出計	52,266	46,858	20,483			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）	43,803	39,810	14,337	18,860		

5. 総括的分析

総括的分析	指標の達成は概ね想定通りであった。
-------	-------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、所要の事務を円滑に処理できるようなアウトカムを意識したインプットとアウトプットを行う。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 767

事務事業名称	土地取得特別会計繰出金事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	総務部			課	財産管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます									
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	枚方市特別会計設置条例				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市土地取得特別会計			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	一定の基準等に基づき、一般会計から特別会計への繰出を行う必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	土地取得特別会計の収支均衡が図られ、維持している状態。				
事業概要	一定基準に基づき、一般会計から特別会計への繰出金を支出する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.10
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	798	786	781		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	798	786	781		
	物件費計	0	0	0	0	
	歳出計	798	786	781		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	令和4年度は一般会計からの繰出金支出は発生していない。
-------	-----------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	土地取得特別会計を活用した公共用地の取得が行われた場合には、一般会計からの繰出金支出を含め特別会計の収支均衡を維持していく。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 814

事務事業名称	市有資産等有効活用促進事務										
測定年度	2022(R4)年度		部	総務部			課	財産管理課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます									
	実行計画名	計画推進3-2.公共施設の適正化									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁等				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	市有資産を有効活用することにより財源確保・歳出削減をめざす資産所管部署			
	サブターゲット	市有資産を有効活用することにより企業活動の促進をめざす事業者等			
	ターゲットが抱える課題	ネーミングライツや未利用地等、有効活用できる市有資産が多くあるので、有効活用を促進し、財源確保・歳出削減につなげたい。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	ネーミングライツの導入や未利用地等の有効活用を進めることで、財源確保・歳出削減を行う。それと同時に、事業者等は、市有資産を活用することにより企業活動の促進が図れる。				
事業概要	市有資産は原則としてすべて市有資産民間提案制度の対象資産であることを前提に、市有資産の所管部署と連携し、ネーミングライツの導入や未利用地等の有効活用を促進する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						ネーミングライツの導入、未利用地等の有効活用がなされる。				市有資産民間提案制度を活用する。				
指標設定	指標説明					ネーミングライツや未利用地等の有効活用を実施中の件数				市有資産民間提案制度に基づき毎年度募集する対象資産数				
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	目標 (見込み)					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績					10	12	14	16	20	20	20	20
	達成度					164%				95%				

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.40
再任用	0.90
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	9,310	8,608	7,656		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	9,310	8,608	7,656		
	物件費計	0	0	0	0	
	歳出計	9,310	8,608	7,656		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の物件費については、人員配置をもとに平均物件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	未利用地については、一般競争入札により売却を行った。また、ネーミングライツでは、以前に公募した施設で応募がなかったものについて随時先着募集によりパートナー獲得を図ったほか、本市主催のイベントなどのソフト事業を対象としたネーミングライツを実施した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	未利用地の売却を進めるほか、ネーミングライツについては募集対象施設・事業の拡大に取り組む。

事務事業実績測定調書

R4調書番号 930

事務事業名称	財産管理課運営事務										
測定年度	2022(R4)年度			部	総務部			課	財産管理課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	R4年度(2022年度)		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	財産管理課の職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営を円滑に図り、組織としての機能を適正かつ効率的に発揮している状態。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・財産管理課運営庶務事務 ・行政財産目的外使用許可事務 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値	目標 (見込み)												
		実績												
	達成度													

3. 人員体制 (人)

	R4実績
正職員	0.60
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

(千円)

4. 決算額

		R2決算額	R3決算額	R4決算額	(参考)R4予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	—	5,500	4,687		
	会計年度任用職員	—	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	—	5,500	4,687		
	物件費計	—	68	79	158	50.0%
	歳出計	—	5,568	4,766		
歳入	国庫支出金	—	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	—	0	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	0	0	0	
		歳入計（物件費に充当される特定財源）	—	0	0	
	一般財源（物件費に充当されるもの）	—	68	79	158	

5. 総括的分析

総括的分析	組織運営に係る事務・事業を適正かつ効率的に執行することができた。
-------	----------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	組織運営に係る事務・事業をより効率的に執行できるよう引き続き取り組む。